

宮っこだより

きらきらびと☆見つけた!

宇都宮市教育委員会広報紙

特別支援学級のみんで実現させた写真展

平成22年6月末から7月中旬にかけて、市内10中学校の特別支援学級において写真教室を開催しました。その後、生徒の作品を集めて「かがやくわたしの写真展」を開催しました。これらの取り組みは、写真を撮ることを通して、生徒が自分の思いをより豊かに表現したり、家族や友だちとのつながりをより深めたりすることにも、自分が更に自信を持てるようにすることを目的として開催されました。

写真教室には、市内のカメラ商組合員の協力のもと、専門のスタッフの方々が学校に出向き、カメラの操作や効果的な写真の撮り方を直接教えていただきました。生徒は、専門スタッフのアドバイスを受けて、一人ひとりがカメラを手に、思い思いに被写体を見つけたり、構図を考えてシャッターを押したりと、撮影に挑戦していました。

10月に開催した写真展では、生徒が写真教室で撮影した作品や、その後、生徒が学校や家庭で撮影した写真など、約140点を展示しました。

普段、自分の思いを言葉で表現することが得意でない生徒たちも、写真という形で表現することができ、その喜びを感じることができました。同じ写真はひとつとしてなく、撮った生徒の個性が光る写真はかりでした。自分の写真を多くの人にってもらい、個性を認められたことが、生徒たちの自信にもつながったようです。

今後、より多くの方々に特別支援教育や障がいがある子どもたちの活動の様子を伝え、理解していただきたいと思います。



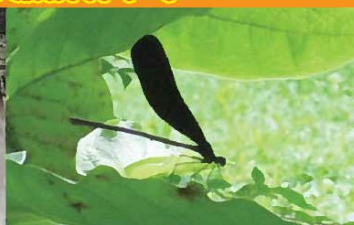
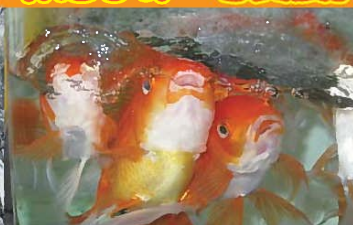
カメラの正しい使い方を教えてもらいました！みんな本当に真剣です。



いざ、実践！対象は同じでも、撮り方は様々です。



「かがやく わたしの 写真展」表現する喜びと自信で笑顔かがやく



写真展の舞台裏

かがやくわたしの写真展。実は、その運営を様々な企業が支えてくれていたことをご存知ですか。この展覧会は、撮影指導のため学校へ専門家を派遣してくださった企業、現像用光沢紙や子どもたちの参加記念品を寄附してくださった企業、展覧会の会場を提供してくださった企業、多くの皆様の協力があつたからこそ実現できた事業なのです。生徒が活躍する舞台を作り上げてくれた企業人たち、彼らの原動力はきっと子どもたちの笑顔なのでしょう。

- 「協力企業」
- 株式会社大塚カラー
 - キヤノンマーケティングジャパン株式会社
 - コクヨ北関東販売株式会社
 - サトーカメラ株式会社
 - 株式会社東武宇都宮百貨店
 - 株式会社フジカラープロフォトセンター



どうやって撮ったらいいかな。たくさん考えて、工夫しました！



この写真展は東武宇都宮百貨店と、市役所の市民ホール2か所で、順次開催されました。



生徒たちに指導するため、学校に出向いてくださった写真教室の先生方。

教育センター ☎639-4380

私たちが目指す“うつのみやの人づくり”

私たちの住むまちが、持続的に幸せなまちであるためには、高い志を持ち、努力を惜しまず、勇気をもって行動できる人材を育てることが不可欠です。宇都宮市では、理想の人づくりを進めるために定めた「宮っこ未来ビジョン」に基づき、学校・家庭・地域・企業と連携しながら、人づくりに取り組んできました。これからも心豊かでたくましく人づくりを進めるため、このまちで生きる一人ひとりが知恵を出し合い、力を発揮しながら、協力して取り組んでいくことが必要です。

基本理念 「心豊かでたくましく生きる人を目指して」—心の触れ合う「対話」と 未来を切り拓く「創造」を通して—
…宮っこを育むために重要な「他を理解し共により良く生きようとする態度」や「自らの目標の実現に向けて挑戦する姿勢」を身に付けるための基本理念です。

基本目標 【自己実現】【課題解決】【技術・文化の伝承、科学の理解】【思いやり・共生】【文化創造】【きまり遵守】
【健康・体力の保持増進】…基本理念を実現するための7つの行動目標を定めました。

ライフステージ別の目標

<p>★親との信頼関係をつくり、自ら行動し、我慢強くやりぬく</p>  <p>幼児期【0～5歳】</p> <p>心と体の根っこをつくる</p>	<p>★社会の中で自分を見つめ、他者を理解する姿勢を持つ</p>  <p>少年期【6～15歳】</p> <p>夢と希望と自信をはぐくむ</p>	<p>★自立して社会をつくる力を培い、他者を尊重する</p>  <p>青年期【16～29歳】</p> <p>自分らしさをはぐくむ</p>	<p>★社会的な責任を自覚し、次世代を誇り、愛情注ぎこめる家庭を築く</p>  <p>成人期【30～64歳】</p> <p>自己の可能性と次世代をはぐくむ</p>	<p>★経験を振り返り、培った知恵や技術を社会に還元する</p>  <p>高齢期【65歳以上】</p> <p>社会と自己をはぐくむ</p>
--	--	---	--	--



「人づくり」にはあらゆる立場の人たちの連携・協力が欠かせません。それぞれの立場で身近な取り組みから始めることが大切です。

お知らせ 宇都宮の人づくりを考える会議の委員を募集!

宇都宮の人づくりを社会全体で進める方策の話し合いにご参加いただける方を募集しています(5月27日締め切り)。

詳しくは、教育企画課(☎632-2706)まで。

討論会では、総勢28名の小中高生が「自分を支えてくれるもの」をテーマに本音で語り合いました。

宮の原小6年の野本さんは夢のきつかけとなったエンジニアの方々の存在を、西原小6年の野本さんは、お母さんの「あなたにはひとりじゃないんだから大丈夫」という言葉が励みになったことを、それぞれ話してくれました。また、弓道部のキャプテンである清原中3年の小太刀さんは、仲間や指導者の方からの励ましが大きな支えとなり、全国優勝を成し遂げた経験を話してくれました。みなさんが3人とも共通していたのは、家族や仲間など周りの人が自分の支えになっているということ。そのような人々への感謝の気持ちを忘れずにいたいということでした。

宇都大附属中3年の戸松さんは、何かを成し遂げたいという自分の思いが、自身の原動力になると話してくれました。また、宇都宮東高2年の櫻井さんは、過去に何かを乗り越えた経験があることで、今の自分に少し自信を持っていることについて、また、宇都宮女子高2年の青海さんは、高校受験など、プレッシャーとなったことを乗り越えたことが、勉強以外の場面でも力になっているということを、それぞれ強く話してくれました。

周りの人々に対する感謝の気持ちを持ち、努力した経験が未来の自分を築くと信じる宮っこの皆さんが、本音で話してくれた討論は、会場にいた方々に勇気と感動を与えてくれました。



「自分を支えてくれるもの」って何ださう?」
小中高生が自分を見つめ、等身大の言葉で語る
「うつのみや人間力向上フォーラム討論会」

平成22年11月20日(土)に市文化会館で開催した「うつのみや人間力向上フォーラム」は、「宮っこ未来ビジョン」で目指す「心豊かでたくましい」宮っこを、社会全体で育むきっかけとなるよう開催しています。人づくりに関わるあらゆる人が協力し合い、素晴らしいイベントとなりました。会場にいた全ての人を熱い気持ちにさせた、メインイベントの討論会の様子を、ご報告します。

たくさんの企業や団体等に【出演】宇都宮中央女子高放送部 すずめ幼稚園 宮っ子の強い大使のみなさん 宇都宮ユース邦楽合奏団 はか 【協力】橋本SC リンク橋本ブレックス 宇都宮ブリッツェン 宇都宮ヤクルト販売株 宇都大附属高ボランティア部 宇都宮大学生 陽南中学校「おやじの会」 はか



宇都宮市教育委員会 委員 松江 比佐子

宇都宮市教育委員会は、「宮っこ未来ビジョン」の基本理念である「心豊かでたくましく生きる人を目指して」、様々な事業を展開しています。

今号では「宮っこ未来ビジョン」が描く未来像にふさわしい、かがやく人たちの取り組みを紹介しています。学校・家庭・地域・企業など、みなさんが手をつなぎ、宮っこがいつまでも夢を持ち続け、やり抜くことができるような人づくり、まちづくりを進めましょう。

でも、いざ自分自身が何をしなければいいのかが、簡単にひとつの答えがでるものではないですね。

ただ、間違いないと言えるのは、答えはその人だけが見つけられるということです。

今号でご紹介した皆様は、スポーツ・文化・科学・生活に関わる様々な分野で、自分自身のテーマを見つけた方です。「好きこそもの上手なれ」という言葉がありますが、何かをやりたい、自分を表現したいという気持ちに真摯に取り組んだ結果がその人を輝かせたのです。

一人ひとりの思いが仲間を呼び、より大きなかがやきが生まれていく、それをまち全体で応援できる…そんなまちができたらずばいいと思います。

今回の人間力フォーラムのテーマは、まさしく「夢をはぐくむまち」のみやでした。夢は、私たちそれぞれのもので、どんな夢も、貴く価値のあるものだと思います。自分がそれを見つけたときは、夢にむかつて一歩進んだ時です。

自分も含めた夢追い人をいつまでも応援していきたいと願っております。

教育委員コラム

- 自己実現
- 課題解決
- 伝承理解
- 思いやり共生
- 文化創造
- きまり遵守
- 健康体力



富士重工業(株)航空宇宙カンパニー勤務 本柳 隆志さん

自転車に乗って走り始めたのは、10年前、不規則な生活と運動不足によって太ってしまった(現在よりも10kg以上)、妻に「これ以上太ったら離婚!」と言われたことから、ダイエット目的で自転車に乗り始めました。

始めると車やオートバイと違う自転車の爽快感にはまっています。自転車の購入したサイクルショップの「チームWADA」の練習会に参加。古賀志山の坂にびっくりして乗るのをためらった時期もありましたが、体重的減少とともに徐々に上れるようになり、今では上り坂が得意分野に!!



6連覇を達成し表彰台上に上る本柳さん(中央)

地域
自現 健康
自実 体力

自転車のまちで走り続けた
チャレンジャーの6連覇の夢

自転車を始めたきっかけは?

10年前、不規則な生活と運動不足によって太ってしまった(現在よりも10kg以上)、妻に「これ以上太ったら離婚!」と言われたことから、ダイエット目的で自転車に乗り始めました。



「富士重工業はヘリコプターも造っているんですよ」(写真右)

6連覇の秘訣? こんなトレーニングをしています!

ほぼ毎週土日のチーム練習会に参加し、チームメイトと共に主として森林公園周辺約70kmを走っています。そのためジャパンカップのコースは熟知しており、レースでは地元の利を存分に生かされたのかもしれない。

また、宇都宮は少し走れば車の通りが少なく、自転車でも走りやすいところが沢山あるので、夏場は古峰神社まで涼みに行ったり、大洗海岸へ往復200km!という練習も。自転車に乗った分だけ正直に走り、でももちろん冬場も、雪が降った日以外は欠かさず乗っています。

スポーツ振興課 ☎632-2737

2010 JAPAN CUP CYCLE ROAD RACE in UTSUNOMIYA

ジャパンカップでの写真



カーミンのダニエル・マーティンが独走で優勝を決めた



山頂付近の大観衆を駆け抜ける選手団 森林公園には約7万人が訪れた

クリテリウムでの写真



クリテリウムの「初優勝者となったドラバクホルシェのトーマス・バルマー



集まった3万人の大観衆に手を振る 宇都宮ブリツツェンの選手たち

2010 宮っこにスポットライト

宇都宮で学び育った宮っこが、2010年も様々な分野で大活躍しました。そんな皆さんの活躍を振り返ります。

平成22年8月15日、真夏の強い日差しが降り注ぐ中、中里町の西郷自治公民館に人々が集まってきました。毎年この日は白山神社と公民館で、市指定文化財の通称「西郷獅子舞」が奉納される日ですが、今年は約20年ぶりに、小学生3人が獅子舞を披露しました。

この日、「鶴守参りの舞」を演じたのは、上河内西小学校6年手塚正祥さん、5年無木亨志さん、3年手塚大夢さんの3名。8月から大人と一緒に毎晩練習をしました。

まだ3年生の大夢さんの参加は、来年からと考えていたという保存会の小野久明会長。しかし大夢さんはどうしてもやりたいというので、参加してもらったそうです。4月からは現在の3人に加え、新3年生も参加する予定です。

長年傳承されてきた伝統文化の後継者として新たな宮っ子が加わり、地域では非常に喜ばれています。今年の夏、さらに成長した若獅子の舞が楽しみです。



左から 手塚正祥さん、手塚大夢さん、無木亨志さん

地域
自現 承継 文化
自実 伝理 文創

20年ぶり小学生が伝統の獅子舞を披露 子どもたちが惚れ込んだ地域の文化



平成21年度に受賞した笹川アツコさんは、ギャラリー部門で初の女性受賞者となりました。また初のデザイン部門での受賞でもあります。昨年12月、笹川さんは「つのみや妖精ミュージアム」で手作りクリスマスカードを作るワークショップを開催しました。これには定員を超える申込みがあり、参加者のみなさんはそれぞれ個性的なカードを作り上げていました。

笹川さんをはじめエスベル賞受賞者の今後の活躍に注目してください。

「宇都宮エスベル賞をご存知ですか?この賞は本市にゆかりがある芸術家であり、その活動が特に顕著で今後の活躍が期待できる方に贈られます。絵画や彫刻などのギャラリー部門と、音楽やダンスなどのホール部門を交互に選出しています。

平成13年に始まったこの賞は、これまでに10名の優秀な人材を発掘し、その中には世界で活躍している方もいます。

平成21年度に受賞した笹川アツコさんは、ギャラリー部門で初の女性受賞者となりました。また初のデザイン部門での受賞でもあります。昨年12月、笹川さんは「つのみや妖精ミュージアム」で手作りクリスマスカードを作るワークショップを開催しました。これには定員を超える申込みがあり、参加者のみなさんはそれぞれ個性的なカードを作り上げていました。

地域
自現 承継 文化
自実 伝理 文創

宮の芸術家を育てるエスベル賞
ギャラリー部門初の女性受賞者

文化課 ☎632-2763



平成22年度 宮っ子表彰・編織教育9年間皆勤賞 表彰式

平成23年3月1日、小中学校9年間を無欠席・無遅刻・無早退で見事皆勤された中学3年生を対象に、平成22年度宮っ子表彰 義務教育9年間皆勤賞表彰式を開催しました。昨年度より5人多い28名の皆さんが市長から表彰状を受け取り、その一人ひとりの表情は自信に満ち溢れていました。

表彰式の後、受賞者と保護者、市長などによる懇談会が開かれました。その中で、二日も休まず学校に通えたのは、友達や家族の支えが大きく、感謝しているとの声が多く聞かれました。また、「高校生になっても皆勤賞を目指し頑張りたい」と決意を新たにする生徒もいました。

受賞された皆さんが、今後も、周りの方への感謝と健康の大切さを忘れずに、元気でたくましい宮っ子に成長してくれることを願います。

地域
自現 健康
自実 体力

9年間皆勤賞の28人を表彰

教育企画課 ☎632-2707

学校・家庭・地域の協力で 広がる子どもの可能性

学ぶ力と

読書の力 学ぶ力を伸ばし 表現する力を育む



**地域ぐるみの読書活動で
読む力UP**

宮の原小学校では、児童の学ぶ力と豊かな心を育むため、様々な読書活動を行っています。

読書活動を支えるためには、学校だけでなく、様々な立場の方の支援が重要です。同校では、高学年児童と職員、保護者、地域ボランティア等が、毎週読み聞かせを行っています。

「室の原親子ブックリレー」という取り組みは親子で読みたい本72冊を選定し、親子で同じ本を読み合い、学級の中で本を読みつなげていくというもので、これにより家庭読書に対する意識が高まりました。



写真上：週1日は朝の読み聞かせを行っています。
写真左：子どもたちが手に持つのはブックリレーの本。

このような取り組みが評価され、同校は平成22年度子ども読書活動優秀実践校として、文部科学大臣賞を受賞しました。今後も、児童の可能性を引き出す読書の力を信じて、活動を続けていきます。

**読み聞かせを続けて27年
本がっつなぐ人々**

宇都宮市の小川範子さんは、永年にわたり子どもへの読み聞かせ活動を行っています。27年前、3歳の娘さきの友達を作らせた読み聞かせ活動に初めて参加。その後図書館や市内の学校で、読み聞かせ等を通して多くの子どもと関わってきました。また、地域の関係者のための研修会や、子ども本の勉強会での指導など、様々な場面で活躍してきました。

このような活動が認められ、図書館活動の振興に功績のあった者として文部科学大臣表彰を受賞されました。

こうした活動のかたわら、日々子どもの読書に関する知識を深める努力が続けられています。

子どもと子どもの本が大好きな小川さん。今後ますますのご活躍が期待できます。



小川範子さん



読書コメント

子どもと一緒に本を読んで楽しむことから始まったこの活動も、いつしか子どもの読書環境を整える方まで広がっています。やればやるほど感じることは、人と人の係わり合いの中に本があるというのが理想的環境で、そうした環境の中に居られる幸せを実感しています。

図書館利用カード新デザイン

平成22年8月に行われた「宇都宮シニア未来議会」で提案された、新しいデザインの図書館利用カードの発行がこの春4月に実現しました。

子どもたちに親しみを持って図書館を利用してもらいたいというシニア議員の思いから生まれた提案により、このような素敵なカードができました。



写真 左上から
諏訪英理子・平野美琴・安生敦 議員
安藤陸・尾島亜寿紗・岩上紗与 議員
菱沼祐太・神山千香子・丸山響・大森左貴 議員

私たちがデザインしました!



泉が丘小3年 柿島くるみさん

清原中3年 池田 瑞生さん

宇都宮工業高2年 青木 美貴さん

ミヤリと本のチョウチョたちが、楽しく図書館に行くイメージを描きました。私も新しいカードを持って、図書館に行きたいです。

このような賞を受賞する事ができ、感謝しています。本の素晴らしさ、世界観をイメージしたので、少しでもそれが伝われば嬉しいです。

(※学校名・学年は昨年度のものです。)

私たちが提案しました!



写真 左上から
諏訪英理子・平野美琴・安生敦 議員
安藤陸・尾島亜寿紗・岩上紗与 議員
菱沼祐太・神山千香子・丸山響・大森左貴 議員

子どもたちに親しみを持って図書館を利用してもらいたいというシニア議員の思いから生まれた提案により、このような素敵なカードができました。

**データでみる
宮っこの学ぶ力**

宇都宮市では、**全校に学校図書館司書を**配置しています！(H18)

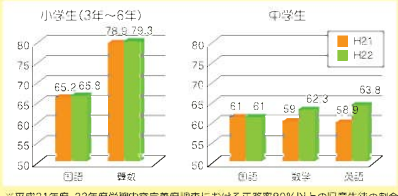
●図書館から**学校図書館への本の配送**を実施しています！(H18)

★宮っこの読書量は 全国平均を大きく上回っています



「読解力」が向上!

★基礎学力がしっかりと 身につけている宮っ子が 増えています



●授業力向上プロジェクト実施
教師同士が授業を見せあい、魅力的な授業作りに努力しています！(H18)

●全校に習熟度別の指導助手を配置しています！(H15)

**和歌を詠み
税の役割を学び伝える**

百人一首は、鎌倉時代に藤原定家と宇都宮の殿様宇都宮頼綱との交流から誕生したと言われています。そんな宇都宮にゆかりのある百人一首で、税の役割を表現しようという開催された「税の百人一首」(税の百人一首実行委員会主催)で32点が入選し、小中学生の作品も選ばれました。

和歌を通して税について学ぶとともに、宇都宮の歴史についても理解を深めることができました。

町の道さけいになるよ税金で
道もピカピカ心もピカピカ
宇都宮市立栗川第一小五年
関谷 優里さん

税務署長賞 満了7歳未満賞
宇都宮市立緑が丘小五年
草野 圭香さん

小学生の部
相模教育推進協議会会長賞
宇都宮市立城山三年
松島 悠さん

中学生の部
相模教育推進協議会会長賞
宇都宮短期大学附属中二年
竹木 彩乃さん

**税金を納めることは国の義務
納めることでくらゐ豊かに**
宇都宮市立城山三年
松島 悠さん

健やかなからだを育む

食育 健やかなからだと心を育む



実技審査の様子



食育フェアでの調理披露

市内の中学生を対象とした「あなたのためのお弁当コンクール」を開催しました。これは、家族や友達のために考えたお弁当を実際にする中で、調理技能を身に付け、食生活に関心がもてるようにすることを目的としたものです。

今年度は6組の中から、書類審査を通過した10組が実技審査に臨みました。参加者が誰かのために思いを込めて作ったお弁当は素晴らしいものばかりでした。

入賞した5チームは第5回うつつのみや食育フェアで料理を披露してくれました。アイデアいっぱいメニエーと落ち着いた調理の様子に、驚きの声があがっていました。

お弁当を作って
気づく・学ぶ・伝える



「受験弁当」

宇都宮市立城山中学校
受験弁当

友達へ

城山中学校(野中さん、熊田さん、本澤さん)

「さんまのロールあげ弁当」

宇都宮市立北原中学校
さんまのロールあげ弁当

友達へ

若松原中学校(境野さん、木下さん、大塚さん)

「夏ばて防止! 元気100倍! 弁当」

宇都宮市立陽南中学校
夏/行楽会! 元気100倍! 弁当

お父さんへ

陽南中学校(福田さん、高瀬さん)

「くまさん弁当」

宇都宮市立陽南中学校
くまさん弁当

妹へ

鬼怒中学校(鈴木さん、山室さん、大野さん)

宮っこの食育コンクール
賞状

「パワーもりもり 孫からの愛情弁当」

宇都宮市立上河内中学校 原奈津季さん、植木晴那さん、金井優季さん

宇都宮市立上河内中学校
パワーもりもりの愛情弁当

うつつのみや食育フェア大賞

お弁当に込めたメッセージ

このお弁当には、おじいちゃんに長生きしてほしいという願いが込められています。また、普段、面と向かって「ありがとう」と言うのは恥ずかしいので、このお弁当を通して感謝の気持ちを伝えたいです。

(※学校名・学年は昨年度のものです。)

宮っこの食育コンクール

宮っこの食事に対する意識が高まっています

質問項目	対象	H18	H22
毎朝、朝食を食べている	小6	93.4%	↑95.8%
	中3	87.8%	↑93.3%
好き嫌いをしないで食べている	小6	69.1%	↑81.9%
	中3	68.7%	↑75.5%

- 全校に学校栄養士が配置されています! (H20)
- うつつのみや食育フェアを開催しています! (H18)
- 中学生による「あなたのためのお弁当コンクール」を実施しています! (H18)

宇都宮市では「お弁当の日」を実施しています! (H20)



田植えは地域の方から教わります。

お二人が勤務する豊郷中央の小学校農園では、各学年が様々な農作物を栽培し、収穫された作物は給食で生きた教材として活用しています。全児童がコシヒカリともち米作りの農業体験を行い、5年生は総合的な学習で古代米の種まきから収穫までを行っています。

学校周辺の生産者の方々が学校給食や授業に協力してくださることで、豊郷地区の特色を活かした給食を提供することができています。農業体験を通じ、「食や」(地元)への関心を促すことができるよう、給食担当者は日々努力をしています。

地域の力が田植えの師匠!

「地域産物を活かしたわが校の自慢料理」をテーマに、応募数は過去最多の1,817校。最終選考で決勝進出を決めたのは、12校と「握りの学校」ではない中、2人は絶妙のチームワークで大健闘しました。

豊郷中央小学校の学校栄養職員坂本治己さんと調理師の岡田裕夫さんが12月に開催された「全国学校給食甲子園全国大会」の決勝大会へ出場しました。

子どもたちの笑顔のために思いを込めた自慢の給食

健康力

学校健康課

3年生が収穫したいちごだよ! 給食のいちごゼリーに

給食委員会が栽培したなめこは給食の味噌汁に

● MENU ●

(実際に給食で提供されています)

- ・古代米おこわ
- ・米粉と豆腐のかき揚げ
- ・ゆばの味噌汁
- ・かんぴょうと小松菜のさっぱりあえ
- ・牛乳
- ・いちごゼリー

こだわり POINT

- ・使用した食品24品のうち、なんと17品が地場産品。
- ・学校で栽培したお米を米粉にして小麦粉の代用とすることで、アレルギー対策も!

自慢の給食はこちら!!

学校栄養職員 坂本治己さん

宇都宮市や豊郷地区、そして本校の取り組みを全国にアピールすることができ、嬉しく思います。

調理師 岡田裕夫さん

この経験を活かし、今後とも調理員一岡力を合わせて、安全安心でおいしい給食を食べてもらえるよう、ますます頑張ります。



子どもたちが ひかり輝く 「かがやきルーム」



本市では、平成20年度から全国に先駆けて、かがやきルームという名称の特別支援教室を計画的に設置しています。教室の名前は、この教室が子どもたちにとって生き生きと光り輝く場になるようにと願って名付けられました。

今年度までに、小学校全68校、中学校全25校に、かがやきルームを設置し、更に小学校66校と、中学校11校には、専属のかがやきルーム指導員を配置しました。

かがやきルームは、通常の学級に在籍している特別な支援を必要とする子どもたちが、一週間に5時間以内で、個別指導や小集団指導を受けられる教室です。発達障がいなどにより、学習や生活上に困難を抱えている子どもたちにとって、かがやきルームでの指導は、「やった！」「できた！」という満足感や達成感が得られたり、混乱したときに気持ちを落ち着けたりする効果があります。

かがやきルームを利用していている子どもたち自身も、「勉強がイライラせずに落ち着いてできるようになった」「かがやきルームはパワーアップの部屋」「かがやきルームにいると、ほっとして心が柔らかくなる」などの感想を話しています。

今後、市内の全小中学校に、かがやきルームの指導員を配置することにより、子どもたちが輝ける場所である「かがやきルーム」をより充実させたものにしていきたいと思えます。

教育センター ☎ 6339-4380

子どもの特性に合わせた学びの場

特別支援教室(かがやきルーム)以外にも、宇都宮市には子どもの特性に合わせた「特別支援学校」、「特別支援学級」、「通級指導教室」等の学びの場があります。

特別支援学校では

視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい(自閉症を含む)、肢体不自由、病弱の子どもたちが将来の自立に向けてきめ細かい支援を受けられる学校

特別支援学級

知的発達や情緒面、手足を動かすこと、聞くことなどにハンディを持つ子どもたちが個々のニーズに応じた教育を受けられる学級

通常の学級

通級指導教室

集中して話を聞くことが苦手、反だちとトラブルになりやすい、極端に苦手な学習がある、ことばの発音が不明瞭などの子どもたちが、週1~3時間程度専門的な指導を受けられる教室

特別支援教室(かがやきルーム)

発達障がいなどの傾向により、特別な支援が必要な子どもたちが必要な時間のみの指導を受けられる教室
全国に先駆けて設置!

各小・中学校では



子育て頑張る 宮っ子パパ&ママ



平成22年12月18・19日の両日、宇都宮で暮らす親御さんたちの座談会が開かれました。父親と母親のグループに分かれて、子育てや学校生活における悩みや不安について語り合い、専門家のアドバイスを受けるという内容のものでした。今回は、ママグループの座談会の様子を紹介します。

高学年のママグループは、特に進学への不安があり、家庭学習の取り組みについて悩みを抱えていました。「私は、子どもがテストを受ける前に頑張れとは言わない。勉強は、わからないことをわかるようにすることだから」とアドバイザーの徳田先生。親たちが本当に悩まなければならぬことは、子どもたち「自分がどうすべきかを気づかせること」「わからない部分をわかるように導くこと」なのかもしれません。

そして、先生は、子どもの成績についても、アニメの『ちびまる子ちゃん』の話を例に挙げ、大切な価値観を教えてくださいました。主人公のまる子が頑張ったことで、60点を取ったのですが、姉が毎回80点以上取るので母親は喜んでくれず、まる子は家を出します。母親は、以前のテストが40点だったと知り、まる子が頑張ったことに気づくというお話。その話を引用し、「頑張ったことを認めてあげることが、自己肯定感につながり、生きる原動力になる」と語りかけました。

● ママ座談会アドバイザー 徳田克己先生
(筑波大学大学院人間総合科学研究科教授
教育学博士 臨床心理士)

家庭の教育手帳

「学校では友達となじめているかな?」「家庭では何を教育したらいいの?」といった、子育てに関する悩みや学校のしくみなど、これまでの疑問の解消に役立つヒントを、分かりやすく紹介した「子どもの教育に関する便利帳」です。
ご家庭でぜひ活用ください。



教育企画課 ☎ 6322-2704

学校応援旗を掲げる 子どもたちの夢先案内人!

子どもたちへ優しく語りかける専門家の先生。夢の実現を支援したいと陰ながら応援する人々。学校教育の舞台裏には、心にはためく学校応援旗を掲げ、児童生徒たちのために、一生懸命汗を流してくれるたくさんの方々がいます。

彼らは、まさに、子どもたちの夢先案内人! キラキラと目を輝かせ、ドキドキと心をときめかす宮っ子たちの貴重な体験は、企業の皆様の協力が無ければ経験できないことなのです。

東京ガス株式会社 宇都宮支社から香風とともに 届いた学校応援メール!

宇都宮市では、学校と企業の社会貢献活動を結ぶ学校応援制度を2月から実施。その第一弾として、企業名等が掲載された学校用品の寄附を募集しています。

この呼びかけに真っ先に応えてくれたのが、東京ガス株式会社宇都宮支社です。

平成23年3月28日学校用品として封筒5万枚を本市に寄附していただきました。東京ガス株式会社宇都宮支社のあたたかいお心づかいに感謝を申し上げます。いただいた封筒は、学校が保護者や地域の皆様へお知らせする通知などに活用させていただきます。本当にありがとうございます。



「火くまのPATCHO」と「応援くん」が共演するとてもかわいい封筒です!

学校応援の輪を広げる取り組みは、学校教育の可能性や子どもたちの夢を広げることだと思います。宇都宮市は、企業市民の皆様のおかげで、あたたかい応援メールをお待ちしております。



学校応援制度のご相談は? TEL028-632-2704 宇都宮市教育委員会教育企画課までお気軽にお電話ください。
宇都宮市学校応援フラッグフレ〜!フレ〜!プロジェクト 宇都宮市学校応援制度 検索

宇都宮市では、寄附や事業協力などで学校を応援したいと考える企業の皆様からのご意見・ご提案も随時募集しています。

地域・企業とつながる学校

子どもたちにとってよりよい教育環境を築くために、協力してくださる地域企業の方々が増えています。これからの教育の現場では、地域企業のみなさんの力が必要とされています。



中学生の思いが詰まったお弁当を商品化

中学生による「あなたのためのお弁当コンクール」で大賞に輝いた、上河内中女子生徒考案のお弁当が、5日間限定で販売されました。商品化に協力してくださったのは、給食調理サービスなどを手がけ、市役所内のレストランを運営していた恵産株式会社です。

昨年度は限定100食の販売でしたが、予想以上の反響で完売が続きました。全てが手作りのため手間はかかりますが、今回は販売数を増やして販売しました。地元食材を活かしたメニューを地域企業が手作りした、宇都宮ならではの弁当を市民の皆様味わっていただくことができました。



平成22年度に商品化されたお弁当。



平成21年度に市役所でお弁当を販売する恵産のみなさん。

商店街で見つけた私たちの夢

市の中心部に位置する中央小学校児童の商業体験は、地域の商店街と一体となつて行われています。中央小は、市内有数の商店街である、中心市街地のオリオン通り曲師町商業協同組合で一日間の商業体験を行っています。

平成22年7月に行われた5・6年生の商業体験は、今回で5年目となり、前回を上回る20店舗の協力を得て行うことができました。児童たちは、おそろいのエプロンを着て、洋服店や薬局などで働きました。また、商業体験中とわかるように、商店組合の方が看板を設置して下さるなど、地域ぐるみでこの取り組みに協力していただきました。

この活動を通して、子供たちの地域への理解と愛着を深めるとともに、接客を通して「おもてなしの心」を育めればと考えています。さらに、実際に、お店で働くことで、働くことの大切さや将来の夢について考えるきっかけになればよいと思います。

このような取り組みが認められ、豊かな人間性を育むキャリア教育を推進しているとして、文部科学大臣賞を受賞しました。商店組合の皆様の子どもたちを地域で育てる、子供たちを地域の宝として大切に育てる、という熱い気持ちと、小学校が互いに協力し続けてきたこの活動。これからも、継続して取り組んでいきます。

「協力企業」オリオン通り曲師町商業協同組合の皆様



丁寧に作れば作るほど、「いいもの」ができるということがわかった。拒絶を作るときに、つなぎ目を分岐にくくするのがプロのコツだとわかった。



ラッピングのときにはタオルをきれいにたたみ、リボンを結ぶ努力をした。今までできなかったリボン結びが今回の体験でできるようになった。



時計の電池交換は細かい作業だったけど楽しかった。このほか、時計店はガラスの清掃、商品ラッピングなどいろいろな大変さがあった。



商品が入っている袋は全て機械に任せているのではなく、人が調節しながらとめていることを知った。商品を丁寧に扱うように努力した。



組合の事務所では、オリオン通りの様子をテレビで見ている商店全体のことを考えている。オリオン通り活性化のために努力している。



150人以上にチラシを配れた。配る前にあいさつをしてから商品の説明をしたら、「使ってみるね」などと、言ってくれる人がいづれしかなかった。



誰でも簡単にお店を出せそうだけど、お店を出すまでには、いろいろやることあって、大変だということが分かった。



大きな声であいさつをし、言葉づかいに気がつけた。蒲戸物を割れないように、包装紙で包むのが難しかった。



お客さんに「いらっしやいませ」を言うのが少し恥ずかしかったけど、たんだん慣れて楽しくなった。あいさつは大切なんだなと思った。

最高のキャンバス！

白沢小児童のアート作品が、誠和工業の壁面を飾りました。白沢小地域協議会は、児童から募集した原画を親子でペイントする催しを開催しました。題材は「心に残る白沢の四季」です。この事業は、白沢小地域協議会や誠和工業の皆様協力により開催することができました。故郷を想う心は親から子へと夢を乗せて地域の人々に支えられながら受け継がれていきます。地域はみんなの想いを描くキャンバスなのかもしれません。

「協力企業」誠和工業株式会社宇都宮工場



高さ1.8m、長さ16mの壁面を親子で彩りました。



白沢小地域協議会委員の皆さんや誠和工業社員の方が安全面でサポートしてくださいました。

身近な探検記！下水道工事現場の見学会

地下4メートルの世界をのぞき見る白沢小学校の子どもたち。普段見ることができない近所の異世界にみんな小さな胸をドキドキさせているに違いありません。児童が手にする「水のゆくえ」と題したテキストが冒険の地図！

永神工業の皆様がこの日のために用意してくれました。子どもたちの好奇心は、学校の中だけでは納まりきらない大きな可能性！その受け皿は地域なのです。

「協力企業」株式会社永神工業



児童に分かりやすく説明して下さる社員の方。現場を知ることが何よりの学びになりました。



「へえー。こんなに深いところを下水が流れるんだね。」児童たちは感嘆の連続です。

ヒーローインタビュー

※学校名・学年などは
昨年度のものです。



何かに夢中になって、がんばり続けている宮っこにお話を伺いました。まだそんな何かに出会えてないという人も、きっと出会いたくなるはずです。

清原中学校 弓道部 3年 全国中学生弓道大会優勝(8月)



堀内聖代さん 栗林陽花さん 小太刀向日葵さん 阿久津美咲さん
写真提供：SPOCOM

部活動の時間は？

小太刀 週2日が休みですが、大会前は毎日練習です。全国大会前の夏休期中、休みはお盆の1日だけ。午前中か昼間に3時間、夜は学外道場で2時間半練習しました。

栗林 全国大会で優勝したときの気持ちは？
小太刀 ほっとしました。他の学校より練習量が多いのに勝てなかつたら、お世話になった方に申し訳ないと思っていました。

堀内 今後の目標は？
阿久津 これからの目標は？
栗林 橋本先生の道場で弓道を続けて、もっと上の段位を目指したいです。

堀内 今後の目標は？
阿久津 これからの目標は？
栗林 橋本先生の道場で弓道を続けて、もっと上の段位を目指したいです。



全国大会優勝後、指導者の橋本先生(左端)や部活のみんなと



県大会で弓を構える、堀内さん、栗林さん、小太刀さん(左から)
写真提供：下野新聞社



半田 全国大会優勝の自信はありましたか？
中里 優勝を目指すというより、いつも通りにできるよ心がけていました。
半田 「完走すること」が目標でした。

半田 今後の目標は？
中里 高校生活として、国際大会でもっといい成績を残したいです。

半田 今後の目標は？
中里 音楽など、色々な分野で活躍できたらと思います。

半田 二人がチームでよかった？
中里 二人の意見が対立することはありますが、お互いを尊重し合っています。

半田 今後の目標は？
中里 音楽など、色々な分野で活躍できたらと思います。

半田 今後の目標は？
中里 音楽など、色々な分野で活躍できたらと思います。



競技直前。どう調整したらよいか、二人で話し合っています。

古里中学校科学部3年
チーム「GLASSES」
WRO国内大会優勝(9月)
国際大会出場(11月・マニラ)

半田 国際大会「初海外はどうでしたか？
中里 普段どおりの生活が全くできず、電話ひとつでも大変でした。

半田 今後の目標は？
中里 音楽など、色々な分野で活躍できたらと思います。

半田 今後の目標は？
中里 音楽など、色々な分野で活躍できたらと思います。

教育企画課 ☎632-2705

皆様が子どもたちの思いやりや「やさしさ」に感動した出来事をお寄せください。
〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

『いただいたお手紙』

一条中学校 校長宛
11月6日に大谷観音 大谷資料館を見学した後、宇都宮の餃子祭りを楽しみました。カトリック松が峰教会見学の途中で、ボランティア活動をしている貴校の生徒さんにお会いし、少しお話をさせて頂きました。明るく素直な生徒さんたちの奉仕活動にとても気持ち良かったことをお伝えしたかったのでお手紙を書きました。

人との交流を深め、愛や夢を知るきっかけとした体験は「宮っ子の誓い」を実践することから始まります。この「誓い」は、日常生活の中で子どもたち自身が実践できる行動規範となるとともに、学校や家庭、地域等が、一体で子どもを育てるための拠り所となるものです。

宮っ子の殿堂では、子どもたちの「思いやり」や「やさしさ」が多くの人々の心ここに「感動」を与えた出来事を紹介しています。

一条中の生徒たちは、毎年、餃子祭りの会場で美化活動に取り組み、ごみ袋にたくさんのごみを回収しながら会場周辺を積極的に歩き回っています。市に観光で訪れた埼玉県の方が、生徒たちのそんな姿に感心し、お手紙をくださいました。

このような出来事がきっかけで、宇都宮市をまた訪れていただけたらうれいですね。

宮っ子の殿堂

自己実現 課題解決 伝承理解 思いやり共生 文化創造

まじり守